

対象国の条件 : 全世界

研修コース番号 : 201984487-J002

案件番号 : 201984487

主分野課題 : 防災/その他防災

副分野課題 : 教育/その他教育

使用言語 : 英語

**案件概要**

本研修では中央または地方の防災教育担当機関で教育行政・計画策定等を担当する職員を対象に、日本の防災教育の取り組み事例の紹介と共に、設立の経緯やそのプロセスを共有する。  
兵庫県は、阪神・淡路大震災の教訓から、常時の防災教育プログラム強化及び災害時の被災学校支援を目的に教職員で組織された取り組みである「震災学校支援チーム (EARTH)」という体制を整備している。このほか、東日本大震災の教訓に基づく宮城県の防災教育制度や、熊本地震に端を発する熊本県の防災教育制度など、大規模災害からの経緯や自治体の規模、災害の状況など、異なる事例を学ぶ。自国における防災教育手法だけでなく、制度設計に資する応用、活用方法を検討し、各国の防災教育システム (計画) の改善を目的とする。

目標/成果	対象組織/人材
<p><b>【案件目標】</b> 各国の状況の分析や研修で得られた日本の知見を通じて、所属機関/国における防災教育システム (計画) の改善に係るアクションプランを作成する。</p> <p><b>【成果】</b> 1) 日本の国・地方における防災教育に係る政策、計画、制度・システムを理解する。 2) 日本の防災教育先進国における、防災教育政策・計画・制度の、成り立ちや経緯を理解する。 3) 小中高の各学校における実施計画、実践事例を学ぶ。 4) 各国における防災教育促進のために参考となるコンテンツやツールについて学ぶ。 5) 所属機関乃至国における防災教育計画策定・改善に関するアクションプランを作成する。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 防災教育を担当する中央または地方の担当機関 (特に中央や地方の教育機関)</p> <p><b>【対象人材】</b> -防災教育の担当者 -当該分野における3年以上の実務経験</p>

内 容	2020/1/6～2020/2/15	
<p>成果1 -日本の防災及び教育システム -仙台防災枠組と日本の貢献 -国及び地方レベルの防災教育に係る政策、戦略 -教科教育とのリンクについて</p> <p>成果2 -自治体教育委員会行政官との意見交換 -兵庫県震災学校支援チーム (EARTH) の取り組み、及び運営に係る、年間計画、予算計画、中長期計画 -宮城県における防災教育制度の発展 -熊本県の防災教育制度の状況</p> <p>成果3 -小・中学校及び高校の防災教育について、年間計画、カリキュラムマネジメント -学校における防災教育の事例 (舞子高校、多賀城高校、等) -学校における防災訓練の視察、地域の関係、連携について</p> <p>成果4 -児童・生徒及び一般市民の防災意識の啓発に係る施設訪問 (人と防災未来センター、等) -防災教育コンテンツ”イザカエルキャラバン!” -防災教育マテリアル及び実践手法の紹介 -災害経験の伝承、啓発のための施設視察 (津波碑、モニュメント、震災遺構、等)</p> <p>成果5 -ジョブレポートの発表 -アクションプランの作成 (PCM手法の活用) ・発表</p>	<b>本邦研修期間</b>	
	<b>担当課題部</b>	地球環境部
	<b>所管国内機関</b>	JICA関西 (業務一)
	<b>関係省庁</b>	
	<b>実施年度</b>	2019～2021

<b>主要協力機関</b>	調整中
---------------	-----

<b>特記事項 及び ホームページ</b>	
-------------------------------	--